

大学番号：国064

[平成27年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

事前伺い

岡山大学大学院 自然科学研究科
応用化学専攻，生命医用工学専攻（博士後期課程）

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務・企画部総務課

職名・氏名 主査・日高聡之

電話番号 086-251-7015

（夜間） 086-251-7015

F A X 086-251-7294

e-mail ss7015@adm.okayama-u.ac.jp

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況, 経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

(2) 大学名

岡山大学

(3) 大学の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

(岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(モリタ キヨシ) 森田 潔 (平成23年4月1日)	(マキノ ヒロフミ) 榎野 博史 (平成29年4月1日)	平成29年3月31日で任期満了のため(29)
理事	(アベ ヒロフミ) 阿部 宏史 (平成23年4月1日)	(タカハシ カヨ) 高橋 香代 (平成29年4月1日)	平成29年3月31日で任期満了のため(29)
研究科長	(タナカ ヒデキ) 田中 秀樹 (平成27年4月1日)	(トミオカ ケンジ) 富岡 憲治 (平成29年4月1日)	平成29年3月31日で任期満了のため(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学研究科 応用化学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)・博士(学術)	工学関係	3年	7人	21人	基礎となる学部等 工学部
生命医用工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)・博士(学術)	工学関係	3	10	30	工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

応用化学専攻(博士後期課程)

区分	報告年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	7 (-) [-]	人 人	7 (-) [-]	人 人	7 (-) [-]	人 人	人 人		0.51倍	
志願者数	4 (-) [-]	1 (-) [-]	2 (1) [-]	2 (1) [2]	3 (1) [2]					
受験者数	4 (-) [-]	1 (-) [-]	2 (1) [-]	2 (1) [2]	3 (1) [2]					
合格者数	4 (-) [-]	1 (-) [-]	2 (1) [-]	2 (1) [2]	3 (1) [2]					
B 入学者数	4 (-) [-]	1 (-) [-]	2 (1) [-]	1 (1) [1]	3 (1) [2]					
入学定員超過率 B/A	0.71		0.42		0.42					

生命医用工学専攻（博士後期課程）

区分	報告年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 人		10		10		10		1.03倍	
	(-)		(-)		(-)		(-)			
	[-]		[-]		[-]		[-]			
志願者数	13	3	6	6	3					
	(4)	(2)	(1)	(2)	(-)	()	()	()		
	[7]	[3]	[4]	[6]	[3]	[]	[]	[]		
受験者数	13	3	6	6	3					
	(4)	(2)	(1)	(2)	(-)	()	()	()		
	[7]	[3]	[4]	[6]	[3]	[]	[]	[]		
合格者数	13	3	6	6	3					
	(4)	(2)	(1)	(2)	(-)	()	()	()		
	[7]	[3]	[4]	[6]	[3]	[]	[]	[]		
B 入学者数	13	3	6	6	3					
	(4)	(2)	(1)	(2)	(-)	()	()	()		
	[7]	[3]	[4]	[6]	[3]	[]	[]	[]		
入学定員超過率 B/A	1.60		1.20		0.30					

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

応用化学専攻（博士後期課程）

学 年	報告年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 4	[-] (-) -	[-] (-) 2	[-] (-) 1	[2] (-) 3	[1] (-) 1			
2年次	/		[-] (-) 4	[-] (-) -	[-] (-) 2	[-] (-) 1			
3年次			/				[-] (-) 4	[] () -	
計	[-] (-) 4	[-] (-) -			[-] (-) 7	[-] (-) -	[3] (-) 11	[] () -	

生命医用工学専攻（博士後期課程）

学 年	報告年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[7] (-) 12	[-] (-) -	[4] (-) 6	[3] (-) 3	[3] (-) 3	[6] (-) 6			
2年次	/		[5] (-) 10	[-] (-) -	[4] (-) 6	[3] (-) 3			
3年次			/				[5] (-) 10	[] () -	
計	[7] (-) 12	[-] (-) -			[12] (-) 19	[-] (-) -	[21] (-) 28	[] () -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

応用化学専攻(博士後期課程)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	5人	0人	平成27年度	0人	0人		0.00 %
			平成28年度	0人	0人		
			平成29年度	0人	0人		
平成28年度 入学者	3人	0人	平成28年度	0人	0人		0.00 %
			平成29年度	0人	0人		
平成29年度 入学者	3人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00 %
合計	11人	0人					0.00 %

生命医用工学専攻(博士後期課程)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	16人	3人	平成27年度	1人	0人	進路再考のため	18.75 %
			平成28年度	2人	2人	進路再考のため・就職のため	
			平成29年度	0人	0人		
平成28年度 入学者	12人	0人	平成28年度	0人	0人		0.00 %
			平成29年度	0人	0人		
平成29年度 入学者	3人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00 %
合計	31人	3人					9.67 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<自然科学研究科 応用化学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
選択科目	グリーンプロセス化学	1・2・3前 未開講		2		1					履修希望者がいなかったため(29) 通常開講(28) 履修希望者がいなかったため(27) 履修希望者がいなかったため(29) 通常開講(28) 履修希望者がいなかったため(27) 履修希望者がいなかったため(28・29) 履修希望者がいなかったため(27) 履修希望者がいなかったため(28・29) 履修希望者がいなかったため(27) 履修希望者がいなかったため(28・29) 履修希望者がいなかったため(27) 履修希望者がいなかったため(29) カリキュラム整備のため(29) 履修希望者がいなかったため(29) 履修希望者がいなかったため(28・29) 履修希望者がいなかったため(27) 教育内容充実のため(28) 履修希望者がいなかったため(28・29) 履修希望者がいなかったため(27) カリキュラム整備のため(29) 履修希望者がいなかったため(28) カリキュラム整備のため(28) 履修希望者がいなかったため(28・29) カリキュラム整備のため(28)	
	有機機能材料プロセス	1・2・3前 未開講		2			1					
	合成プロセス化学演習	1・2・3通		2		1	1					
	有機金属化学	1・2・3後		2		1						
	有機金属化学演習	1・2・3通		2		1						
		1・2・3前 未開講										
	生体機能反応化学	1・2・3前		2		1						
	天然物合成化学	1・2・3前 未開講		2			1					
	薬理活性分子合成論	1・2・3前		2			1					
	生物有機化学演習	1・2・3通		2		1	2					
	機能性分子合成論	1・2・3後		2		1						
	合成有機化学演習	1・2・3通		2		1						
	有機電子移動論	1・2・3後		2			1					
	ヘテロ原子化学演習	1・2・3通		2			1					
	錯体触媒化学	1・2・3後		2				1				
	工業触媒化学演習	1・2・3通		2				1				
	高分子物性学	1・2・3後 未開講		2			1					
	高分子材料学	1・2・3前		2				1				
	高分子材料学演習	1・2・3通		2			1	1				
	無機機能性薄膜	1・2・3前 未開講		2		1						
		前										
	無機機能性材料化学	1・2・3後		2			1					
	無機材料学演習	1・2・3通		2		1	1					
		未開講										
	セラミックス材料	1・2・3前		2		1						
	材料電気化学	1・2・3前		2			1					
	無機物性化学演習	1・2・3通		2		1	1					
		未開講										
	粉体物性論	1・2・3前		2		1						
	微粒子設計論	1・2・3前		2		1	1					
	粒子・流体プロセス工学演習	1・2・3通		2		1	1					
		未開講										
機能界面設計学	1・2・3前		2		1							
界面プロセス工学演習	1・2・3通		2		1							
	後 未開講											
	前											
バイオ分子間相互作用解析学	1・2・3後 未開講		2		1							
	前											
バイオ界面制御工学	1・2・3後		2			1						
バイオプロセス工学演習	1・2・3通		2		1	1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 32	科目 0	科目 32	科目 0 [0]	科目 32 [0]	科目 0 [0]	科目 32 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{32} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<自然科学研究科 生命医用工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目	生体機能制御学	1・2・3後		2		1						
	酵素機能解析学	1・2・3後		2			1					
	生体機能分子設計学演習	1・2・3通		2		1	1					
	1分子生理学	1・2・3後		2		1						
	1分子生物化学演習	1・2・3通		2		1						
	シグナル伝達創薬	1・2・3前		2		1						
		未開講										
	細胞機能開発学	1・2・3前		2			1					履修希望者がいなかったため(29)
	細胞機能設計学演習	1・2・3通		2		1	1					
	生体素材開発学	1・2・3後		2		1						
		後										
	生体材料表面科学	1・2・3前		2			1					教育効果の向上のため(28)
	無機バイオ材料工学演習	1・2・3通		2		1	1					
	化学生物学	1・2・3後		2		1						
	生体分子工学演習	1・2・3通		2		1						
	蛋白質分子設計学	1・2・3後		2			1					
	蛋白質医用工学演習	1・2・3通		2			1					
	生体ナノ分子工学	1・2・3前		2		1						
	分子遺伝学	1・2・3前		2			1					
	ナノバイオシステム分子設計学演習	1・2・3通		2		1	1					
		未開講										
	オルガネラ機能情報設計学	1・2・3前		2			1					履修希望者がいなかったため(29)
	オルガネラシステム工学演習	1・2・3通		2			1					
	ヒューマンインタフェース特論	1・2・3前		2		1						
	情報数理論	1・2・3後		2					1			
	人間情報処理学演習	1・2・3通		2		1			1			
	ネットワーク性能評価論	1・2・3後		2		1						
	医用情報ネットワーク学演習	1・2・3通		2		1						
	センサデバイス工学	1・2・3後		2		1						
	計測システム応用学	1・2・3後		2			1					
	先端診断計測工学演習	1・2・3通		2		1	1					
		1・2・3前										
	未開講											
人間支援インタフェース論	1・2・3前		2		1						通常開講(29)	
機能ロボット設計論	1・2・3後		2					1			履修希望者がいなかったため(28)	
インタフェースシステム学演習	1・2・3通		2		1			1				
神経工学	1・2・3前		2		1							
生体信号計測学	1・2・3後		2			1						
認知神経科学演習	1・2・3通		2		1	1						
複合機能設計学	1・2・3集中		2								兼1	
細胞生業材料学	1・2・3集中		2								兼1	
組織再建材料学	1・2・3集中		2								兼1	
生体材料機能設計学演習	1・2・3通		2								兼3	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年度」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え

消し修正をしてください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 38	科目 0	科目 38	科目 0	科目 38	科目 0	科目 38	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{38} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	671,565 m ²	0 m ²	0 m ²	671,565 m ²			
	運動場用地	92,955 m ²	0 m ²	0 m ²	92,955 m ²			
	小 計	764,520 m ²	0 m ²	0 m ²	764,520 m ²			
	そ の 他	41,035 m ²	0 m ²	0 m ²	41,035 m ²			
	合 計	805,555 m ²	0 m ²	0 m ²	805,555 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		347,630 m ² (347,630 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	347,630 m ² (347630 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	163 室	150 室	296 室	21 室 (補助職員 13 人)	3 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	自然科学研究科 応用化学専攻		30 室					
	自然科学研究科 生命医用工学専攻		22 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位で特定不明 なため、大学全体の数 (機械・器具、標本を 除く)
	自然科学研究科	2,084,267 [690,961] (2,084,267 [690,961])	48,611 [17,192] (48,611 [17,192])	6,581 [4,873] (6,581 [4,873])	5,531 (5,531)	1,649 (1,649)	0 (0)	
	計	2,084,267 [690,961] (2,084,267 [690,961])	48,611 [17,192] (48,611 [17,192])	6,581 [4,873] (6,581 [4,873])	5,531 (5,531)	1,649 (1649)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	20,635 m ²	1,553 席		1,514,666 冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	10,494 m ²	陸上競技場、野球場、テニスコート、弓道場、プール等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 29 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
≪AC対象学部等≫								
自然科学研究科 (博士後期課程)					博士(工学), 博士(学術)	0.59		岡山市北区津島中三丁目1番1号
応用化学専攻	3	7	—	21		0.51	平成27年度	
生命医用工学専攻	3	10	—	30		1.03	平成27年度	
文学部					学士(文学), 学士(学術)	1.06		岡山市北区津島中三丁目1番1号
人文学科	4	175	—	700		1.06	平成16年度	
教育学部					学士(教育 学), 学士(学 術)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号
学校教育教員養成課程	4	250	—	1,000		1.05	平成11年度	
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.00	昭和53年度	
法学部					学士(法学), 学士(学術)	1.03		岡山市北区津島中三丁目1番1号
法学科								
昼間コース	4	205	—	820		1.02	平成16年度	
夜間主コース	4	20	—	80		1.10	平成16年度	
経済学部					学士(経済 学), 学士(学 術)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号
経済学科								
昼間コース	4	205	—	820		1.04	平成16年度	
夜間主コース	4	40	—	160		1.06	平成16年度	
理学部					学士(理学), 学士(学術)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号
数学科	4	20	3年次20	80		1.11	平成7年度	
物理学科	4	35		140		1.04	平成7年度	
化学科	4	30		120		1.09	平成7年度	
生物学科	4	30		120		1.08	平成7年度	
地球科学科	4	25		100		1.07	平成7年度	
医学部					学士(医学), 学士(看護 学), 学士(保 健学), 学士 (学術)	1.00		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号
医学科	6	115	2年次5	715		1.00	昭和24年度	
保健学科						1.00		
看護学専攻	4	80	3年次10	340		1.01	平成10年度	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次5	170		1.00	平成10年度	
検査技術科学専攻	4	40	3年次5	170		1.00	平成10年度	
歯学部					学士(歯学)	1.00		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号
歯学科	6	48	2年次5	308		1.00	昭和54年度	学生受入は昭和55年度
薬学部					学士(薬学), 学士(創薬科 学), 学士(学 術)	1.02		岡山市北区津島中一丁目1番1号
薬学科	6	40	—	240		1.02	平成18年度	
創薬科学科	4	40	—	160		1.04	平成18年度	
工学部					学士(工学), 学士(学術)	1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号
機械システム系学科	4	160	3年次30	640		1.03	平成23年度	
電気通信系学科	4	100		400		1.06	平成23年度	
情報系学科	4	60		240		1.02	平成23年度	

化学生命系学科	4	140		560	1.03	平成23年度		平成23年度より学生募集停止
機械工学科	4	—	—	—	—	昭和62年度		
電気電子工学科	4	—	—	—	—	昭和62年度		
情報工学科	4	—	—	—	—	昭和62年度		
通信ネットワーク工学科	4	—	—	—	—	平成12年度		
環境理工学部					1.04		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
環境数理学科	4	20	—	80	1.06	平成6年度		
環境デザイン工学科	4	50	—	200	1.05	平成6年度		
環境管理工学科	4	40	—	160	1.03	平成6年度		
環境物質工学科	4	40	—	160	1.06	平成6年度		
農学部					1.04		岡山市北区津島中一丁目1番1号	
総合農業科学科	4	120	—	480	1.04	昭和61年度		
教育学研究科							岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(修士課程)					0.85			
学校教育学専攻	2	6	—	12	1.08	平成20年度		
発達支援学専攻	2	9	—	18	0.71	平成20年度		
教科教育学専攻	2	47	—	94	0.79	平成20年度		
教育臨床心理学専攻	2	8	—	16	1.12	平成20年度		
(専門職学位課程)					1.00			
教職実践専攻	2	20	—	40	1.00	平成20年度		
社会文化科学研究科							岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成18年度より名称変更
(博士前期課程)					0.77			
社会文化基礎学専攻	2	27	—	54	0.73	平成16年度		
比較社会文化学専攻	2	40	—	80	0.88	平成16年度		
公共政策科学専攻	2	19	—	38	0.65	平成18年度		
組織経営専攻	2	14	—	28	0.64	平成18年度		
(博士後期課程)					0.94			
社会文化学専攻	3	12	—	36	0.94	平成16年度		
自然科学研究科							岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)					1.10			
数理物理科学専攻	2	38	—	76	0.93	平成11年度		
分子科学専攻	2	24	—	48	0.93	平成17年度		
生物科学専攻	2	22	—	44	0.83	平成17年度		
地球科学専攻	2	16	—	32	0.96	平成11年度		
機械システム工学専攻	2	98	—	196	1.18	平成11年度		
電子情報システム工学専攻	2	90	—	180	1.15	平成11年度		
応用化学専攻	2	50	—	100	1.14	平成27年度		
生命医用工学専攻	2	57	—	114	1.16	平成27年度		
(博士後期課程)					0.59			
数理物理科学専攻	3	10	—	30	0.43	平成24年度		
地球生命物質科学専攻	3	17	—	51	0.58	平成24年度		
産業創成工学専攻	3	21	—	63	0.50	平成17年度		
先端基礎科学専攻	3	—	—	—	—	平成17年度		平成24年度より学生募集停止
機能分子化学専攻	3	—	—	—	—	平成17年度		
化学生命工学専攻	3	—	—	—	—	平成24年度		平成27年度より学生募集停止
(博士課程)5年一貫制					0.80			
地球惑星物質科学専攻	5	4	—	20	0.80	平成21年度		

保健学研究科 (博士前期課程) 保健学専攻	2	26	—	52	修士(看護学), 修士(保健学) 1.07 1.07	平成15年度	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号
(博士後期課程) 保健学専攻	3	10	—	30	博士(看護学), 博士(保健学) 1.16 1.16	平成17年度	
環境生命科学研究科 (博士前期課程) 社会基盤環境学専攻	2	30	—	60	修士(理学), 修士(工学), 修士(環境学), 修士(農学), 修士(学術) 0.86 0.89	平成24年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号
生命環境学専攻	2	23	—	46	0.80	平成24年度	
資源循環学専攻	2	43	—	86	0.98	平成24年度	
生物資源科学専攻	2	25	—	50	1.00	平成24年度	
生物生産科学専攻	2	38	—	76	0.64	平成24年度	
(博士後期課程) 環境科学専攻	3	22	—	66	博士(理学), 博士(工学), 博士(環境学), 博士(農学), 博士(学術) 0.70 0.69	平成24年度	
農生命科学専攻	3	20	—	60	0.71	平成24年度	
医歯薬学総合研究科 (修士課程) 医歯科学専攻	2	20	—	40	修士(医科学), 修士(公衆衛生学), 修士(歯科学), 修士(学術) 1.30 1.30	平成17年度	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号
(博士前期課程) 薬科学専攻	2	40	—	80	修士(薬科学) 0.82 0.82	平成22年度	
(博士後期課程) 薬科学専攻	3	10	—	30	博士(薬科学), 博士(薬学), 博士(学術) 0.46 0.46	平成24年度	
(博士課程) 生体制御科学専攻	4	25	—	100	博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学), 博士(学術) 1.10 1.11	平成17年度	
病態制御科学専攻	4	62	—	248	1.05	平成17年度	
機能再生・再建科学専攻	4	28	—	112	1.18	平成17年度	
社会環境生命科学専攻	4	13	—	52	1.19	平成17年度	
法務研究科 (専門職学位課程) 法務専攻	3	24	—	84	法務博士(専門職) 0.57 0.57	平成16年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号 平成29年度から定員減 30→24

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学研究科 応用化学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月
専任	教授	藤井達生	平成27年4月	無機機能性薄膜 無機材料学演習					
専任	准教授	狩野 旬	平成27年4月	無機機能性材料化学 無機材料学演習					
専任	助教	中西 真	平成29年4月	無機材料学演習					
専任	教授	岸本 昭	平成27年4月	セラミックス材料 無機物性化学演習					
専任	准教授	林 秀考	平成27年4月	材料電気化学 無機物性化学演習					
専任	助教	寺西貴志	平成29年4月	無機物性化学演習					
専任	教授	小野 努	平成27年4月	機能界面設計学 界面プロセス工学演習					
専任	助教	渡邊貴一	平成29年4月	界面プロセス工学演習					
専任	教授	後藤邦彰	平成27年4月	粉体物性論 粒子・流体プロセス工学演習					
専任	准教授	中曽浩一	平成28年10月	熱移動現象論 粒子・流体プロセス工学演習					
専任	助教	三野泰志	平成29年4月	粒子・流体プロセス工学演習					
専任	教授	今村維克	平成27年4月	バイオフィン相互作用解析学 バイオプロセス工学演習					
専任	准教授	石田尚之	平成27年4月	バイオフィン制御工学 バイオプロセス工学演習					
専任	助教	今中洋行	平成29年4月	バイオプロセス工学演習					
専任	教授	菅 誠治	平成27年4月	グリーンプロセス化学 合成プロセス化学演習					
専任	准教授	光藤耕一	平成27年4月	有機機能材料プロセス 合成プロセス化学演習					
専任	助教	萬代大樹	平成29年4月	合成プロセス化学演習					
専任	教授	高井和彦	平成27年4月	有機金属化学 有機金属化学演習					
専任	助教	村井征史	平成29年4月	有機金属化学演習					
専任	助教	浅子壮美	平成27年4月	有機金属化学演習					
専任	教授	依馬 正	平成27年4月	機能性分子合成論 合成有機化学演習					

専任	講師	高石和人	平成27年4月	有機反応機構論 合成有機化学演習						
専任	助教	前田千尋	平成29年4月	合成有機化学演習						
専任	教授	坂倉 彰	平成27年4月	生体機能反応化学 生物有機化学演習						
専任	准教授	早川一郎	平成27年4月	天然物合成化学 生物有機化学演習						
専任	准教授	黒星 学	平成27年4月	有機電子移動論 ヘテロ原子化学演習						
専任	講師	押木俊之	平成27年4月	錯体触媒化学 工業触媒化学演習						
専任	准教授	内田哲也	平成27年4月	高分子物性学 高分子材料学演習						
専任	講師	沖原 巧	平成27年4月	高分子材料学 高分子材料学演習						
専任	准教授	仁科勇太	平成29年2月	分子技術論 機能分子工学演習						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し, 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」, 変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお, 設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は, 「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由, 変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
9	9	2	1	21	9	9	3	9	30	9	9	3	9	30
(9)	(9)	(2)	(1)	(21)						[0]	[0]	[1]	[8]	[9]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
19	2	0			20	10	0			20	10	0		
(19)	(2)	(0)								[1]	[8]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		該当なし						
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学研究科 生命医用工学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月
専任	教授	世良貴史	平成27年4月	生体機能制御学 生体機能分子設計学演習					
専任	准教授	飛松孝正	平成27年4月	酵素機能解析学 生体機能分子設計学演習					
専任	教授	井出 徹	平成27年4月	1分子生理学 1分子生物化学演習					
専任	教授	徳光 浩	平成27年4月	シグナル伝達創薬 細胞機能設計学演習					
専任	准教授	金山直樹	平成27年4月	細胞機能開発学 細胞機能設計学演習					
専任	教授	早川 聡	平成27年4月	生体素材開発学 無機バイオ材料工学演習					
専任	准教授	吉岡朋彦	平成27年4月	生体材料表面科学 無機バイオ材料工学演習					
専任	教授	大槻高史	平成27年4月	化学生物学 生体分子工学演習					
専任	准教授	二見淳一郎	平成27年4月	蛋白質分子設計学 蛋白質医用工学演習					
専任	教授	妹尾昌治	平成27年4月	生体ナノ分子工学 ナノバイオシステム分子設計学演習					
専任	准教授	村上 宏	平成27年4月	分子遺伝学 ナノバイオシステム分子設計学演習					
専任	准教授	佐藤あやの	平成27年4月	オルガネラ機能情報設計学 オルガネラシステム工学演習					
専任	教授	阿部匡伸	平成27年4月	ヒューマンインタフェース特論 人間情報処理学演習					
専任	講師	相田敏明	平成27年4月	情報数理論 人間情報処理学演習					
専任	教授	横平徳美	平成27年4月	ネットワーク性能評価論 医用情報ネットワーク学演習					
専任	教授	塚田啓二	平成27年4月	センサデバイス工学 先端医用電子工学演習					
専任	准教授	紀和利彦	平成27年4月	計測システム応用学 先端医用電子工学演習					
専任	助教	堺 健司	平成27年4月	先端医用電子工学演習					
専任	教授	五福明夫	平成27年4月	人間支援インタフェース論 インタフェースシステム学演習					

専任	講師	亀川 哲志	平成27年4月	機能ロボット 設計論 インタフェ ースシステム学 演習						
専任	教授	呉 景龍	平成27年4月	神経工学 認知神経科学 演習						
専任	准教授	高橋 智	平成27年4月	生体信号計測 学 認知神経科学 演習						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **既で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。**AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
11	8	2	1	22	11	8	2	1	22	11	8	2	1	22
(11)	(8)	(2)	(1)	(22)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
19	3	0			19	3	0			19	3	0		
(19)	(3)	(0)								[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		該当なし						
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<自然科学研究科 応用化学専攻（博士後期課程）>

<自然科学研究科 生命医用工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>記入例)</p> <p>① 修了要件単位数 12単位 必修科目2単位, 選択科目10単位</p> <p>② 施設・設備</p> <p>a 講義室11室 (1,217㎡)</p> <p>b 自習室2室 (230㎡)</p> <p>c 図書 2,084,267冊</p> <p>研究科単位で特定不明なため, 大学全体の数</p>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 研究科の学務委員会への出席</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 平成28年度中に11回開催 (委員長の他, 13名:講座毎選出の委員)</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・研究科の教務及びFDに関する事項, 入試制度方法に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>7.平成28年度岡山大学新任教員研修 (H28.4.5及びH28.10.6開催) 岡山大学の教育課題, 学習支援・学生支援システム, 学生のメンタルヘルスについて説明</p> <p>1.平成28年度教職員FD・SD研修 (H28.9.1開催) 学外識者によるFD講演, 教職員及び学生による分科会・セミナーの実施</p> <p>b 実施方法</p> <p>7.講演方式 (一部ワークショップ形式)</p> <p>1.講演方式・セミナー形式</p> <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>7.H28.4.5 (58名) 及びH28.10.6 (16名) 開催</p> <p>1.H28.9.1 (264名) 開催</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 新しい成績評価制度の導入検討</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 全学的に実施で, 前期前半, 前期後半終了時, 後期前半, 後期後半終了時の4回実施 (但し, 履修者5名以上の授業のみ実施のため, 未実施)</p>
--

b 教員や学生への公開状況、方法等

5名以上の授業科目が無く、未実施により未公開、全学的には冊子にて閲覧、ホームページ等により公開

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・自己点検・評価の結果の公表は、完成年度を迎える平成30年3月以降を予定している。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・次期評価期間(H32~H33)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成 29年 8 月 31日)